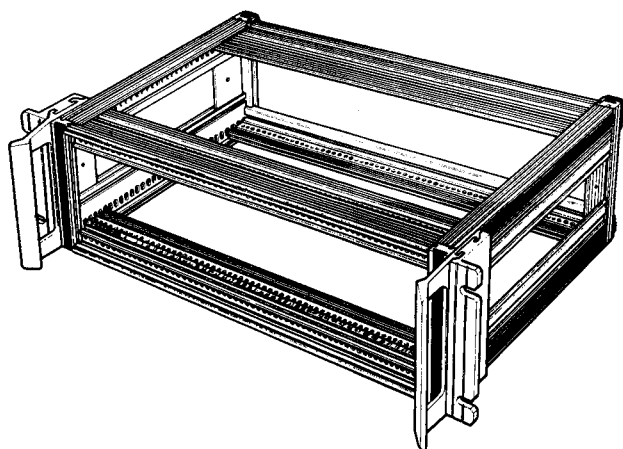
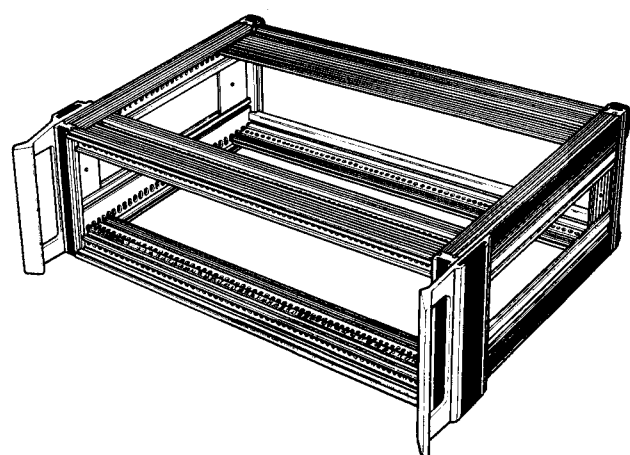


完成図

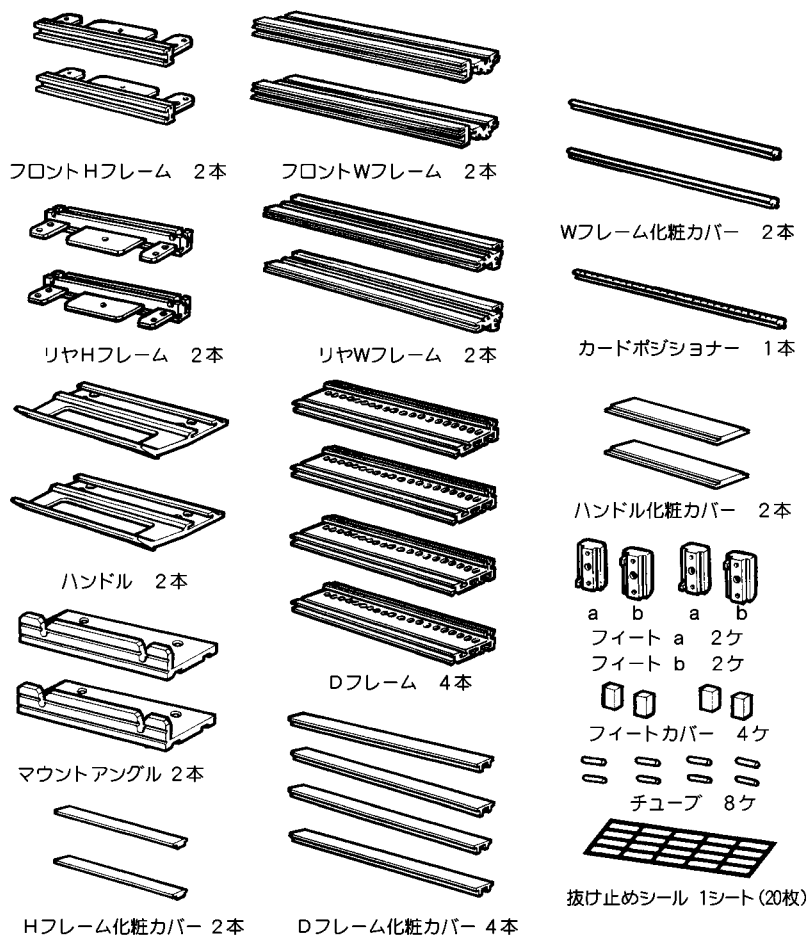


ラックマウントタイプ



デスクトップタイプ

部品名称及び員数

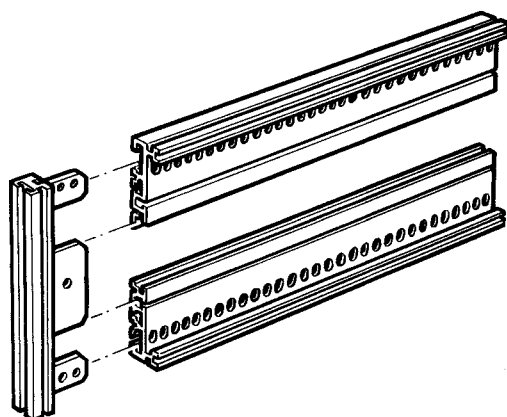


尚、ケース完成後に残るネジ類は、次のオプション・システムアクセサリが取付けられるように用意されているものです。

十字穴付なべ小ねじ	M3×10	8	サブHフレーム	RKP-□□SHF
十字穴付なべ小ねじ	M3×8	10	フロントパネル	RKP-□□AFPN
			コネクタープレート	RKM-□□CP・CPE
十字穴付なべ小ねじ	M3×6	16	リヤパネル	RKP-□□ERP
			ガイドフレーム	RKP-43GWFB~D
			コネクタープレート	RKP-43CWFB~G
十字穴付なべタッパタイト	M4×10	8	サブWフレーム	RKP-43SWF

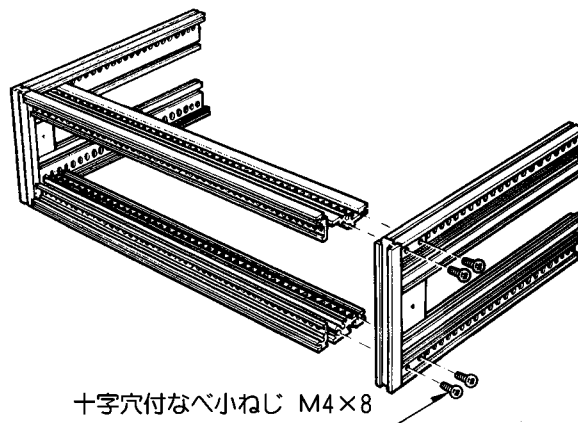
完成後にオプション関係の追加実装が容易にできるよう、六角ナットはあらかじめ組立時にフレームへ挿入しておかれることをおすすめします。

1



フロントHフレームをDフレームに差し込みます。

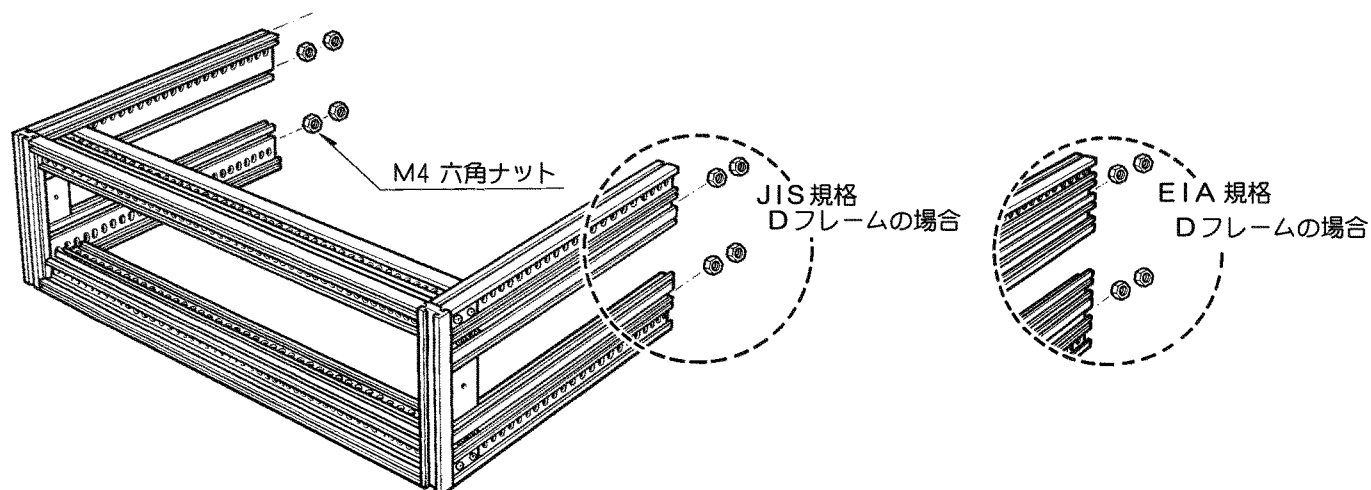
2



十字穴付なべ小ねじ M4×8

フロントWフレームを、M4×8なべねじにて、H、Dフレームと共に仮止めします。

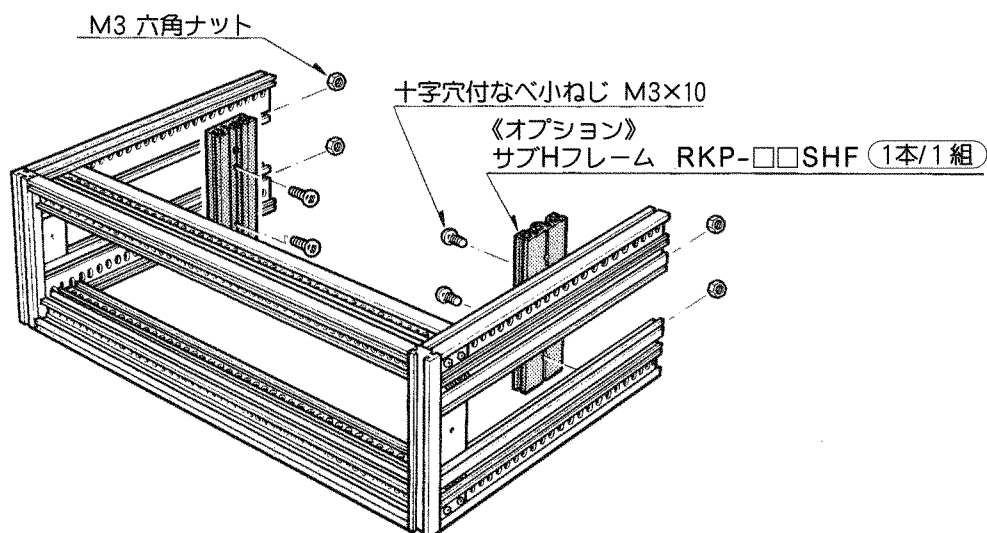
3A



ハンドル又はハンドルとマウントアングルを締結する為のM4六角ナットを、Dフレームの外面の溝に、一本当たり2ヶずつ挿入します。
(EIA規格のDフレームの場合、詳細図参照)

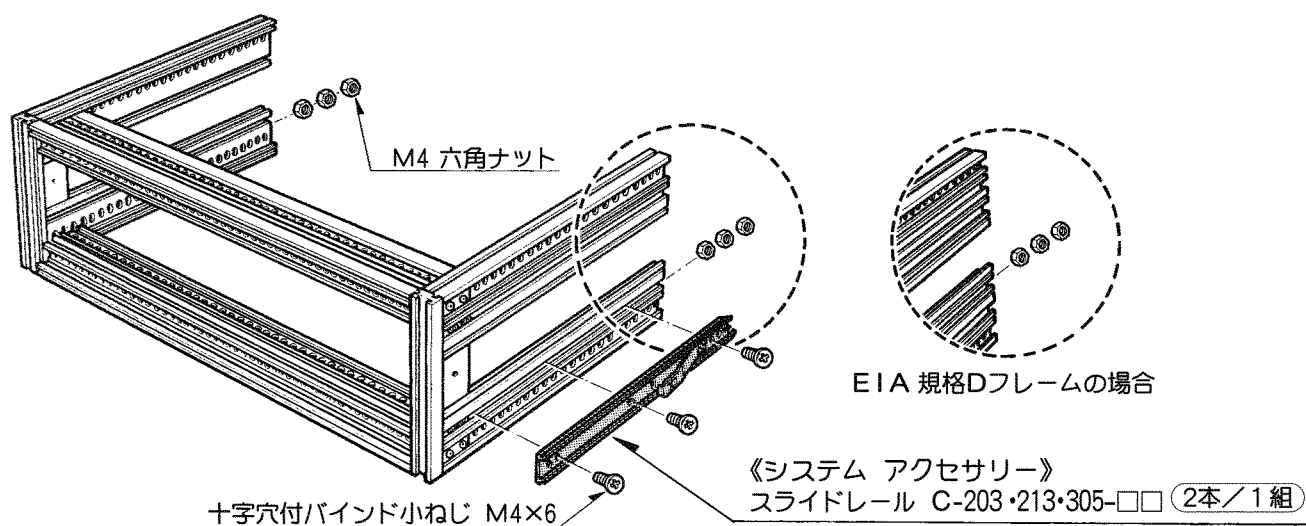
次の [3B] ~ [3D] までの図及び説明は、別売の種々のオプション部品を実装する時のもので、本体のみの組立ての場合は、[4] へ進んで下さい。

3B



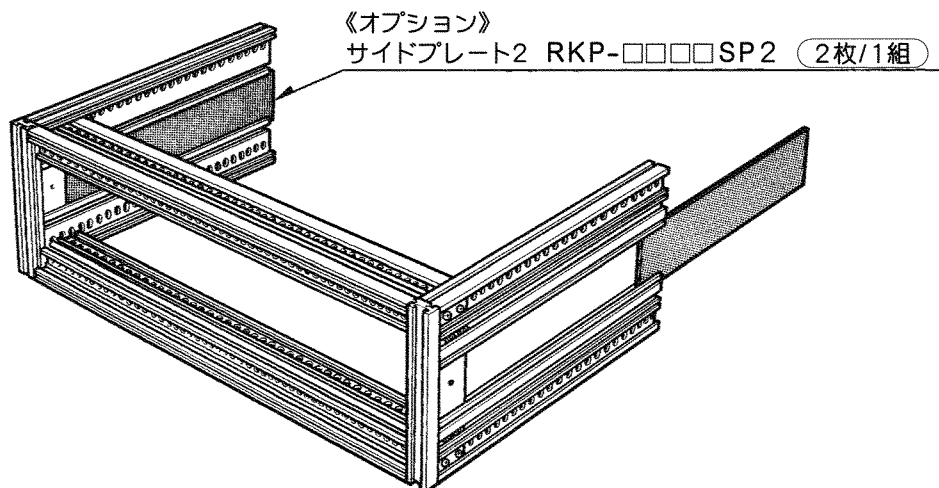
オプションのサブHフレーム RKP-□□SHF を実装する場合は、サブHフレーム 1 本当たり上下Dフレームの内面の溝に、それぞれ1ヶずつM3六角ナットを挿入します。

3C



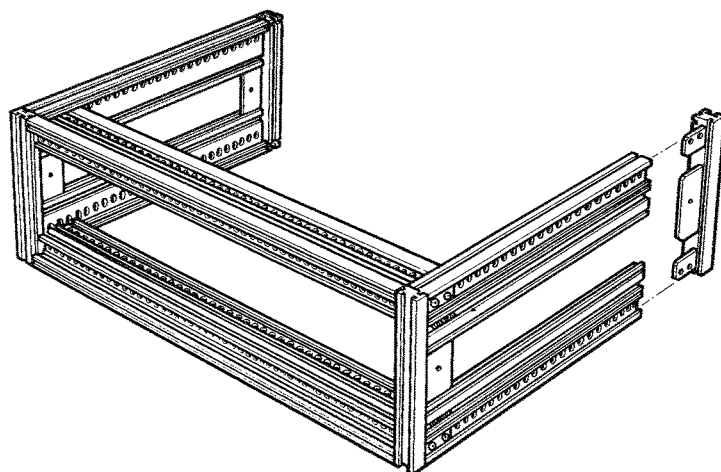
スライドレール C-203・213・305シリーズ を実装する場合は、レール 1 本当たり、2 ~ 3 個のM4六角ナットを、上下どちらかのDフレーム外面の溝に挿入します。
(EIA規格のDフレームの場合、詳細図参照)

3D



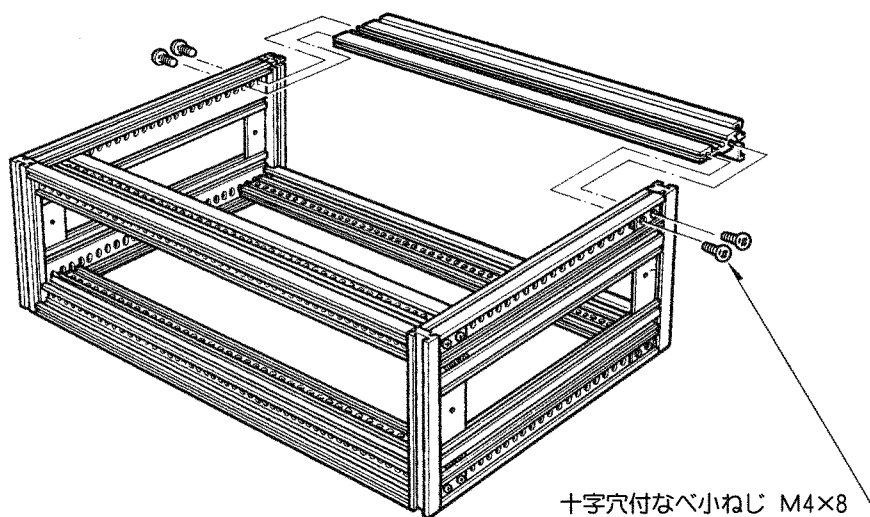
オプションのサイドプレート RKP-□□□□SP 2を実装する場合は、上下のDフレームの間に挿入します。

4



リヤHフレームをDフレームに挿入します。

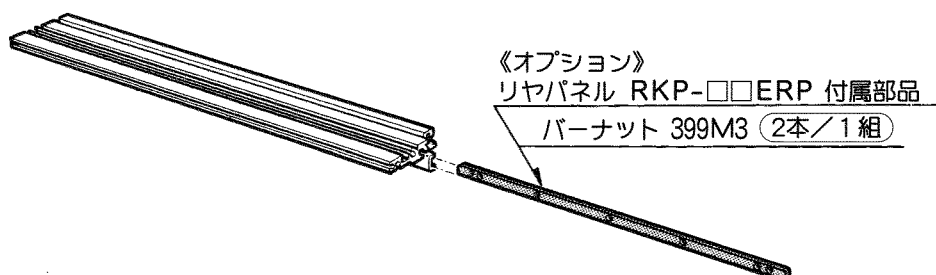
5A



リヤWフレームをはめ込み、M4×8なべねじで締結し、全コーナーを本締めします。

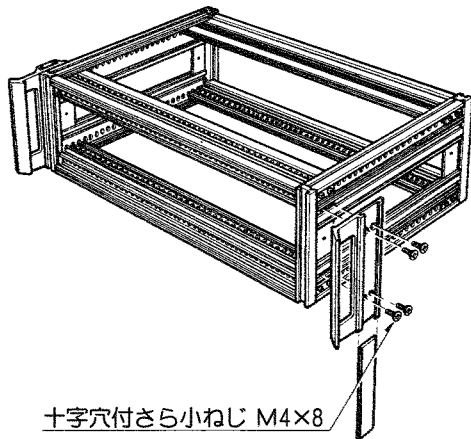
次の[5B]の図及び説明は、別売のオプション部品、リヤパネルを実装する時のもので、本体のみの組立ての場合は[6]へ進んで下さい。

5B



オプションのリヤパネルを実装する場合は、リヤパネルに付属しているバーナットを、先にリヤWフレームの溝に挿入します。

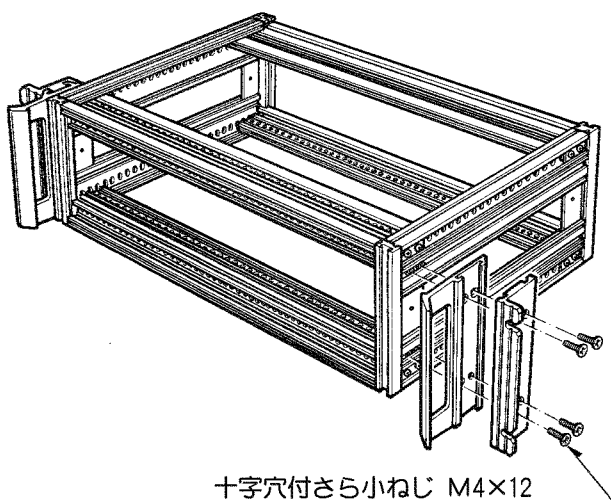
6A



十字穴付さら小ねじ M4×8

デスクトップタイプとして使用する場合は、ハンドルをDフレームにM4×8さらねじで締結し、ハンドル化粧カバーを挿入します。(ハンドル化粧カバーが抜け落ちる場合は、9の抜け止めシール貼付を行って下さい。)

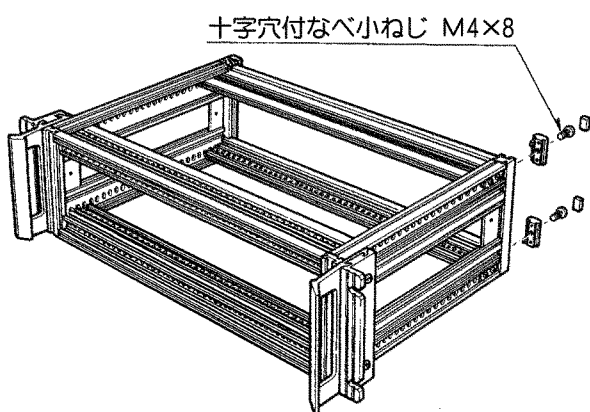
6B



十字穴付さら小ねじ M4×12

ラックマウントタイプとして使用する場合は、ハンドルとマウントアングルを同時にDフレームにM4×12さらねじにて締結します。

7A



十字穴付なべ小ねじ M4×8

リヤHフレームにフィートをM4×8なべねじで取り付け、フィートカバーをその上から貼り付けます。

次の [7B] の図及び説明は、別売のオプション部品、トップボトムカバーを実装する時のもので、本体のみの組立ての場合は、[8] へ進んで下さい。

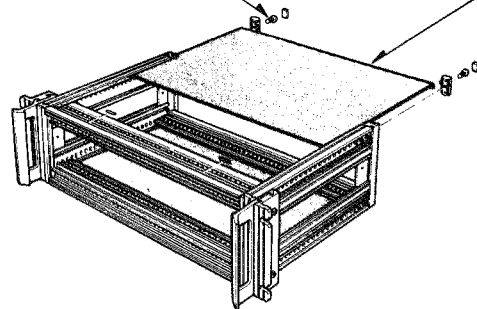
7B

《オプション》

トップ・ボトムカバー RKP-□□BTB

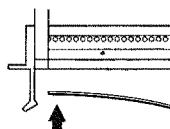
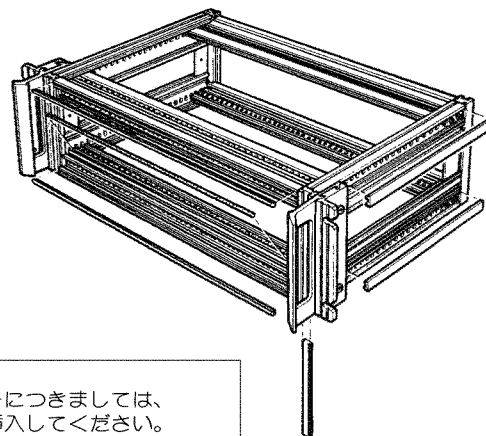
(1枚/1組) を 2組 □□BTB-V

十字穴付なべ小ねじ M4×8



オプションのトップボトムカバーRKP-□□BTB、□□BTB-Vを実装する場合はカバーを挿入した後、フィートで押さえつけます。この時、カバーががたつく場合は、フロントWフレームにチューブを2本程度差し込んで下さい。

8 完成



注1

Wフレーム化粧カバーにつきましては、端からWフレームに挿入してください。(カバー中央部より挿入されると、カバーが割れる恐れがあります)

注2

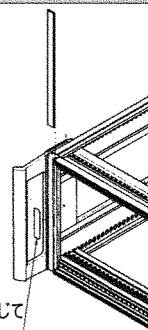
万が一ガタツキ等が発生した場合は、

Wフレーム化粧カバーをマイナスドライバー等で少し広げて下さい

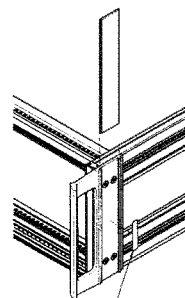
カバー断面

Wフレーム、Hフレーム、Dフレーム化粧カバーを取り付けます。必要に応じてカードポジショナーを取り付けます。(Hフレーム化粧カバーが抜け落ちる場合は、9の抜け止めシール貼付を行って下さい。)

9 抜け止めシール貼付



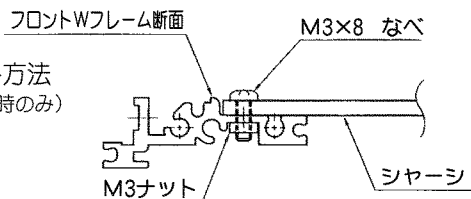
通常1枚、必要に応じて重ね貼りして下さい



通常1枚、必要に応じて重ね貼りして下さい

補足

RKU2にシャーシ組込み方法
(RKP-**SHP、シャーシ購入時のみ)



SETTSU 摂津金属工業株式会社

本社 〒570-0006 大阪府守口市八雲西町4丁目1番26号
TEL 06 (6992) 2331 FAX 06 (6991) 6269

E-mail eigyou@settsu.co.jp URL http://www.settsu.co.jp